

評価対象期間	平成25年4月～平成26年3月分
施設名	青谷上寺地遺跡展示館
指定管理者名	公益財団法人鳥取市文化財団
指定管理期間	平成23年4月～平成28年3月
施設所管課名	鳥取市教育委員会事務局文化財課

1. 事業評価

確認する内容	指定管理者	施設所管課			
	自己評価	評価	確認方法	備考	
I. 公共サービスの実施状況					
1 仕様書・事業計画に基づく事業が適切に行われたか	3	3	聞き取り		
2 基準に基づき、適切な人員配置がなされたか	3	3	聞き取り	館長が週2日在館している。	
3 業務に必要な研修や職員の育成・指導が適切に行われたか	3	3	聞き取り		
4 平等利用が確保され、利用者から利用許可に対する苦情がないか	3	3	聞き取り		
5 利用実績に関する帳簿が作成され適正に管理されているか	3	3	聞き取り 書類確認		
6 減免対象者は、適切に減免しているか	適切	適切	聞き取り		
7 地域の活性化につながる社会貢献活動等への配慮はあるか	3	3	聞き取り	青谷小4・5、6年生を対象にした上寺地クラブで、学芸員が月2回、話や指導をしている。	
8 満足度調査を実施し、その結果は妥当か	4	3	聞き取り 書類確認		
9 利用者の苦情等を把握し、業務改善を実施しているか	3	3	聞き取り		
10 利用者拡大のための改善・努力がなされているか	4	4	聞き取り 書類確認	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会と連携して、体験活動の充実等、集客に努めている。	
II. 施設の維持管理の実施状況					
11 清掃・衛生管理は適切に行われているか	3	2	聞き取り	業務仕様書では、トイレ清掃を週3回行うこととしているが、週1回しか行っていないかった。	
12 備品・設備・施設の点検・修繕は適切に行われたか	3	3	聞き取り		
13 消耗品の補充が適切に行われているか	適切	適切	聞き取り		
14 再委託先の業務を適切に管理しているか	3	3	聞き取り		
15 点検によって異常等が認められたとき、速やかに適切な処置が実施されているか	3	3	聞き取り		
III. 施設の経営状況					
16 事業収支は妥当であるか	3	3	聞き取り	施設管理費としては黒字であるが、財団本部の事務管理費に充当されているため、全体では赤字である。	
17 施設の運営に要する経費節減の努力は、適正になされているか	4	3	聞き取り	財団本部で一括発注することにより、コスト削減が図られている。	
IV. 法令等の遵守状況					
18 個人情報の管理は適切に行われたか	4	3	聞き取り		
19 市税、国税、社会保険料等の滞納はないか	滞納なし	滞納なし	聞き取り		
20 労働関係法規(労働基準法、労働安全衛生法、最低賃金法など)を遵守しているか	適切	適切	聞き取り		
21 設備、施設の法定点検、必要な届出は実施されているか	適切	適切	聞き取り		

V. 施設運営に関する情報の公開					
22	HP等可能な媒体を利用して情報公開しているか	3	3	聞き取り	
23	満足度調査結果等を施設で公開しているか	2	2	聞き取り	施設内で公開していない。
24	市への報告体制が確立されているか	3	3	聞き取り	
VI. リスク管理の状況					
25	基準に基づき保安・警備業務が適切に行われたか。鍵の管理は適切か。	3	3	聞き取り	
26	緊急体制マニュアルは整備されているか、緊急時体制は職員に理解されているか	3	3	聞き取り 書類確認	

2. 指定管理者の経営状況に関するコメント

指定管理者	指定管理料等の収入の範囲内で活動しており、健全な経営状況にある。来館者への記念品(手作りメモ帳)提供など、入館者増につながるサービス提供を行った。また、アンケート回収率をあげるため、アンケート回答者へ手作りしおりを提供した。
施設所管課	7施設の指定管理施設を管理している指定管理者では、平成25年度単年度で合計1,200万円の剰余金が出ており、また、前年度までにも多額の剰余金があり、経営状況は問題ない。

3. 自主事業の実施状況に対するコメント

指定管理者	イベント数を増やし、利用者増を図った。また、あおや夏祭りの夜間開館や、体験イベントの増加を図るなど、サービス提供にも努めた。
施設所管課	同館学芸員が県外の考古博物館へ自主的に研究に行くなど、体験事業を充実させようと努力し、25年度は初めて琥珀勾玉づくりや鑄造体験を行った。また、来館者へ手作りメモ帳、手作りしおり等を配布するなど、地道な活動は評価できるし、前年度に比べて入館者増につながっている。

4. 総括コメント

指定管理者	関係諸機関との連携をはかりつつ青谷上寺地遺跡の活用の中核となる施設として適正な運営を行っている。入館者数は前年度を上回っており、サービスや事業の充実などの結果であると考えられる。施設の老朽化により、設備等に故障が相次いでいることに加え、施設には体験スペースがなく、ロビーで実施しているため、一度の事業では募集人数に限られることや、イベント中はロビーで上映している映像を見ることが出来ない等の問題がある。
施設所管課	青谷上寺地遺跡史跡保存活用協議会と連携したスタンプラリー等の取組みや、体験事業の充実により、集客に努力しているが、年間で1万人以上の入館者を確保していただきたい。旅行会社への案内も20数社行っているようであるので、山陰海岸ジオパークとの相乗効果も狙い、積極的に情報発信を行って、青谷インターから下りる自動車やバスを増やしていただきたい。

確認方法	書類、聞き取り、現地確認
------	--------------

評価区分	4	求める管理水準を満たし、かつ水準よりも優れた内容がある
	3	求める管理水準が適切に実施されている
	2	求める管理水準に概ね沿った内容であるが、一部に課題がある
	1	求める管理水準に沿っていない内容があり、改善を要する
	0	求める管理水準が遵守されてなく、不適切な管理運営がなされている